

# 平成 29 年度 田原市議会運営委員会行政視察報告書

日 程 平成 29 年 8 月 10 日 (木) 13 時 30 分～15 時 30 分

視察先 「議会 ICT 化の取組について」

「議員間討議について」 (千葉県流山市)

会 場 第 3・4 委員会室

対応者 流山市議会議長 秋 間 高 義 氏

流山市議会議員 中 川 弘 氏 (説明者)

” 植 田 和 子 氏 (説明者)

” 坂 巻 儀 一 氏

” 戸 辺 滋 氏

事務局次長補佐 村 上 明 子 氏

事務局議事係 田 村 洋 介 氏

参加者 委員長 赤 尾 昌 昭 副委員長 岡 本 禎 稔

委 員 河 邊 正 男 委 員 太 田 由 紀 夫

” 長 神 隆 士 ” 小 川 貴 夫

事 務 局 小 久 保 英 夫 事 務 局 鈴 木 克 広

” 牧 野 直 弘

## (1) 概 要

流山市は、千葉県の北西部、都心から 25km 圏に位置する人口約 18 万 2 千人のまち。

議会改革の先駆者である流山市議会は、平成 13 年の「地方分権検討協議会」の設置を皮切りに、本会議のインターネット中継の導入、議員間協議による議会費予算要望の実施、傍聴者アンケートの実施及び専門的知見の活用等の取組を経て、平成 21 年 3 月に反問権の付与等の内容を含む「議会基本条例」を制定した。その後も、ICT の推進、委員間の自由討議の実施、Ustream による委員会中継の実施、Twitter 公式アカウントの取得、携帯端末機による電子採決の実施及びパソコン・プロジェクター・スクリーンを活用した一般質問の実施等の取組を順次進め、平成 24 年には日本経済新聞社産業地域研究所が実施した「議会改革度ランキング調査」において、全国第 1 位にランキングされている。

流山市議会における議会改革は、「市民に開かれた信頼される議会」を実現し、“見られる議会” から“見たくなる議会”へと変革することによって、「オープンガバメント（市政の見える化と市民の参加促進）による民意の反映」を最終的な目標としており、その目標達成に向けた様々な取組が継続して展開されている。

## (2) 参考になった点

### 《議会 ICT 化の取組について》

- 委員会室でのプロジェクターの活用について、質疑・答弁・説明時の補助資料投影のためのプロジェクターは、審議を分かりやすくするためのツールとして議員側と執行部側の双方で活用されている。
- 一般質問時のプレゼンテーションツールの利用について、プレゼン用の資料作成は議員本人、議場での操作は議員本人又は同会派の議員が行い、資料の著作権等チェックを事務局が行う体制が整っており、役割分担が明確にされている。
- SNS を通じた議会中継予定などの議会情報の発信は、若い人や時間に制限のある人への議会の公開という面で参考にすべき取組である。また、委員会中継も YouTube により配信され、容易に視聴できる環境が整っており、「開かれた議会」となっている。

### 《議員間討議について》

- 議員間討議の様子は傍聴が可能で、インターネット中継も実施されている。また、議事録も残されており、「開かれた議会」に即した取組が展開されている。
- 委員会中の動議による議員間討議の実施が可能のため、委員長の裁量で実施可否を判断でき、自由度が高い仕組みとなっている。
- 請願・陳情審査での議員間討議の実施は、市民の負託に応えられる議会となるための取組として重要。

## (3) 所 感

### 《議会 ICT 化の取組について》

- 本会議でのプレゼンテーションツールの利用は、質問内容が伝わりやすくなることやタブレット端末の活用の幅が広がるなどのメリットが多く、本市においても導入の必要があると感じた。なお、プロジェクターやスクリーンなどの設備導入に際しては、流山市議会を見習い、最小の経費で最大の効果を得られるよう工夫が必要。
- YouTube による委員会中継は、市民がリアルタイムで自分達の生活に関わる審議を見ることができ、市政への関心を高め、自治意識の醸成に貢献する取組であると思う。
- 議会 ICT 化に関する取組を初め、流山市議会の議会改革の取組は「先ずやってみる」という姿勢であるとの印象を受けた。実際にやってみて不具合があれば修正し、それでも改善できなければ休・廃止するというフットワークの軽い柔軟な対応は、今後本市が様々な議会改革を推進する上で見習うべきであると思う。

### 《議員間討議について》

- 議員間討議の実施方法について、本市では執行部が退席した後に委員協議会等の場において実施しているが、議会の透明化を図るためにも、流山市議会と同様に執行部同席で実施しても良いのではないかと思う。
- 流山市議会の自由度の高い議員間討議の実施方法を参考に、本市もより柔軟な議員間討議のあり方を検討していくべきであると感じた。また、議会の透明化のためには議員間討議の内容を会議録に残す必要があると思う。

- 流山市議会では、主に請願・陳情審査の際に議員間討議を実施しているとのことであった。本市も、これまで行ってきた議案審議での議員間討議の実施に加え、今後は請願・陳情審査においても議員間討議を実施しても良いのではと感じた。

